

行政評価シート（事務事業評価）			評価年度	4年度
事業名	赤字バス路線維持対策事業	担当課	総合政策課	
事業内容(簡潔に)	民間事業者が運行する路線バスに対し、補助金を交付し路線バスの維持をする事業			

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	安全・安心に暮らせる強いまちづくり		
	政策	安全・安心なまちづくり		
	施策	公共交通網の整備		
関連する個別計画等		根拠条例等	韮崎市バス路線維持費補助金交付要綱	

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	公共交通網を整備することにより、生活に必要な移動手段の維持・確保を目的とする。
事業の手段	運行費用が増大している民営路線バスに対し、運行を維持するため補助金を交付する。
事業の対象	路線バスの運行によって得た経常収益の額が経常費用に達しない第3種生活路線を運行する者 【対象路線】増富温泉郷線、百観音線、浅尾線、敷島経由甲府駅線、大草経由甲府駅線

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		元年度	2年度	3年度
A	事業費 (千円)	16,347	14,941	16,394
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	その他(使用料・借入金ほか)	0	0	0
	一般財源	16,347	14,941	16,394
B	担当職員数(職員E) (人)	0.05	0.05	0.05
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	335	329	329
D	総事業費(A+C) (千円)	16,682	15,270	16,723
主な事業費用の説明	路線バス事業者への補助金			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した元年度(6,715千円),2年度(6,575千円),3年度(6,582千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
活動指標	1 運行回数(回)	総運行便数÷運行日数÷2 【対象路線】 増富温泉郷線 百観音線 浅尾線 敷島経由甲府駅線 大草経由甲府駅線	8.2 0.3 4.9 7.3 5.6	8.2 0.3 4.9 7.0 5.5	8.3 0.3 4.9 7.3 5.6
	2 経常損益(千円)	【対象路線】 増富温泉郷線 百観音線 浅尾線 敷島経由甲府駅線 大草経由甲府駅線	▲36,773 ▲691 ▲14,423 ▲15,762 ▲13,762	▲44,124 ▲672 ▲12,790 ▲15,104 ▲15,617	▲44,417 ▲774 ▲13,757 ▲18,021 ▲17,589
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	地域住民及び交通弱者の移動手段として、路線バスを運行することは、日常生活の利便性の向上が見込まれるため妥当である。			
	2	路線バス運行に係る収支の欠損額に対して、補助金を交付するものになるので路線バスの運行を維持するための手段としては妥当である。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1 乗車人数(人)	【対象路線】 増富温泉郷線 百観音線 浅尾線 敷島経由甲府駅線 大草経由甲府駅線	89,390 1,865 20,709 76,890 81,199	65,847 1,428 17,372 59,353 66,003	59,538 1,360 17,359 56,303 52,291
	2 補助金交付額(千円)	【対象路線】 増富温泉郷線 百観音線 浅尾線 敷島経由甲府駅線 大草経由甲府駅線	6,974 594 5,514 1,759 1,506	6,253 577 4,890 1,329 1,892	6,149 665 5,260 1,837 2,483
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	乗車人数について、令和2年度は新型コロナウイルスの影響もあり、前年度に比べ約22%減少し、令和3年度も更に減少しており、需要が落ちている。			
	2	路線バスの運行に係る欠損額は年々増加しており、それに伴い補助金交付額も増加傾向にある。運行費用も増加しており、運行効率が悪化している。			

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)		
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	令和4年度の改善計画(今後の事業展開説明) 運行事業者との連携を図るとともに、事業者支援に努めていく。 また、利用状況等を調査研究を進め事業者とも協議し、今後の運行形態について検討していく。		
改善の経過	令和2年度: 赤字上限撤廃(コロナ禍による一時的な対応)		
直近の評価結果	内部評価	2年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
	評価時の改善案	運行事業者との連携を図るとともに、事業者で実施しているイベント等に協力し、路線を維持する。	
	外部評価	2年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
	評価時の対応	公共交通として継続して運行できるよう、地域ニーズに合致したバス路線経路、運行ダイヤや利用環境の改善に向け運行事業者と情報共有を図るとともに、民営バスを利用する高齢者に対し利用料金の助成を今後も継続して実施していきます。	
課長所見	市民バスとの整合性を保ちつつ、運行事業者と情報共有を図り、連携して維持を図る。		